

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種120社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2024年4月から6月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2024年4月～6月

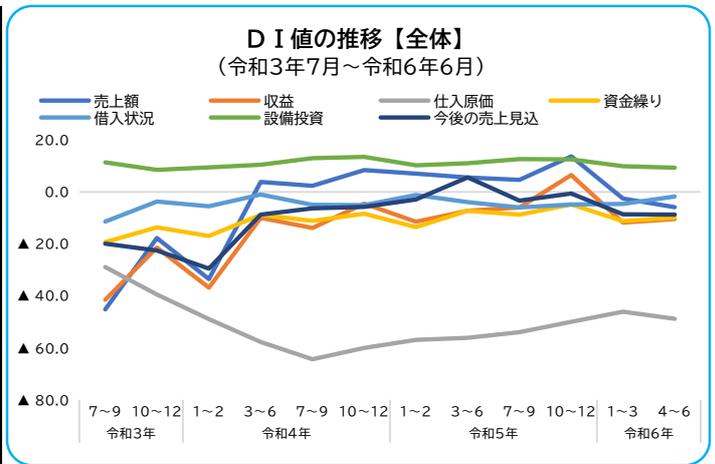
【調査方法】 建設業、小売業、卸売業、製造業、飲食・観光業の5業種、合計120社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数86社、回答率71.7%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)/全体数×100-(④+⑤)/全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

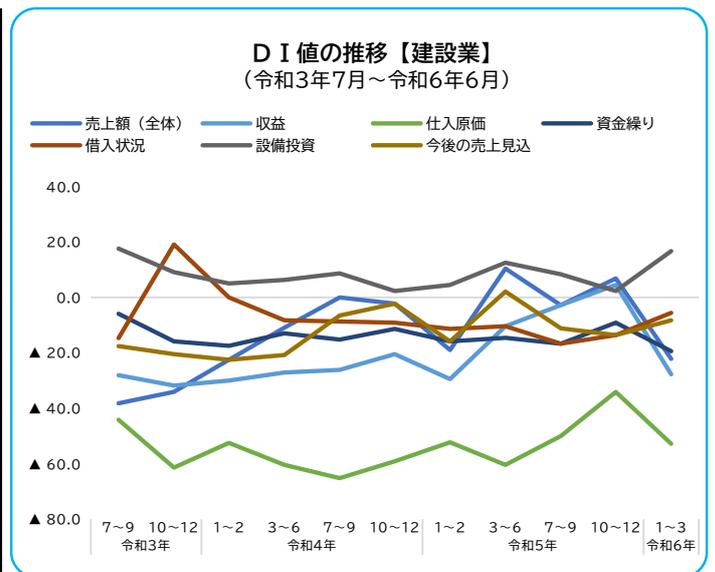
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	3	23	26	29	5	減少	▲5.8
収益	増加	4	17	28	31	6	減少	▲10.5
仕入原価	低下	0	3	13	53	17	上昇	▲48.8
資金繰り	好転	1	4	60	19	2	悪化	▲9.9
借入状況	減少	1	6	69	9	1	増加	▲1.7
設備投資	増加	2	19	61	1	3	減少	9.3
今後の売上見込	増加	0	19	38	24	5	減少	▲8.7



全産業における2024年4月から6月のDI値は、設備投資以外、全ての項目でマイナスとなっており依然として厳しい状況がうかがえる。特に売上額については▲5.8ポイントと前年同期と比較して▲11.4ポイント減少し、今後の売上見込についても▲8.7ポイントと前年同期と比較して▲14.3ポイント減少している。現在直面している経営上の問題点については、10期連続(2022年1月～2月調査以降)で「仕入原価の高騰」が58.1%と最も多く、次に「売上減少」39.5%となっている。今後、求められる施策や支援策については「補助金・助成金」と「原材料・燃料価格の高騰対策」が54.7%と最も多い。

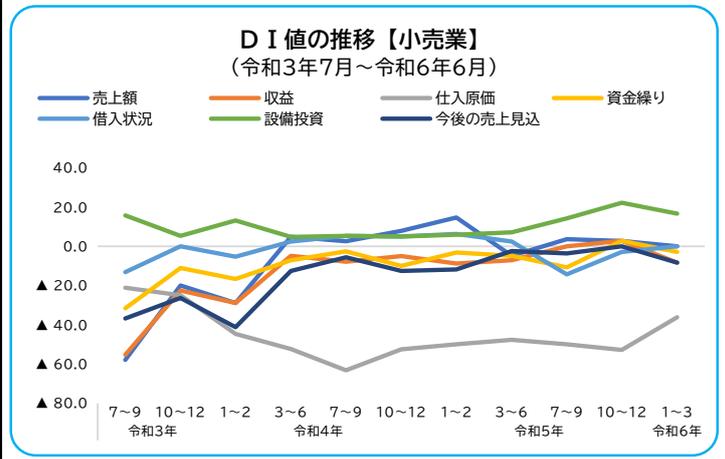
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	6	6	10	1	減少	▲13.0
公共工事(元請)	増加	0	0	6	8	1	減少	▲33.3
民間工事(元請)	増加	2	3	5	10	0	減少	▲7.5
下請工事	増加	2	7	5	5	0	減少	15.8
収益	増加	0	6	7	8	2	減少	▲13.0
仕入原価	低下	0	1	4	14	4	上昇	▲45.7
資金繰り	好転	0	0	18	4	1	悪化	▲13.0
借入状況	減少	1	2	19	1	0	増加	6.5
設備投資	増加	1	5	16	0	1	減少	10.9
今後の売上見込	増加	0	3	10	10	0	減少	▲15.2



*公共工事なし8件、民間工事なし3件、下請工事なし4件

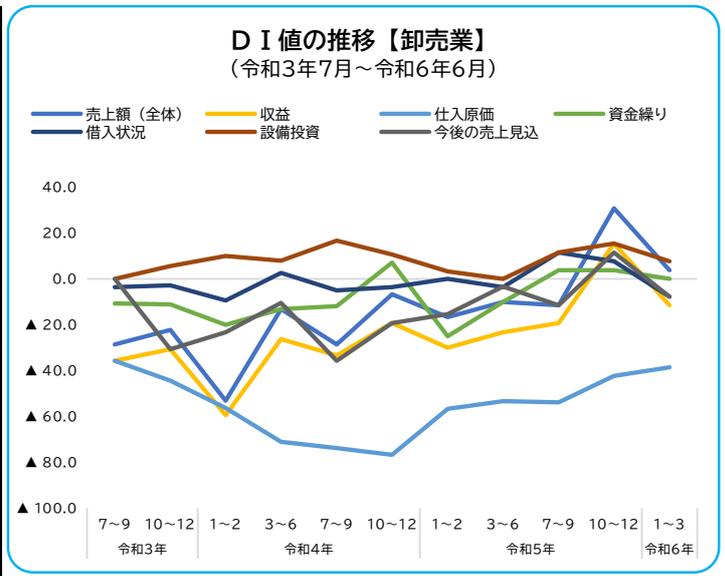
建設業のDI値は、公共工事(元請)は▲33.3ポイントと昨年同期と比較すると▲61.9ポイントと大幅に悪化している。しかしながら、下請工事は15.8ポイントと昨年同期と比較し13.3ポイント改善し、借入状況も6.5ポイントと16.9ポイント改善している。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」と「人手不足」が60.9%(14件)と最も多く、次に売上減少が43.5%(10件)となっている。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	6	7	5	1	減少	▲ 2.6
収益	増加	1	2	8	7	1	減少	▲ 13.2
仕入原価	低下	0	2	2	11	4	上昇	▲ 44.7
資金繰り	好転	0	2	12	5	0	悪化	▲ 7.9
借入状況	減少	0	1	14	3	1	増加	▲ 10.5
設備投資	増加	1	3	15	0	0	減少	13.2
今後の売上見込	増加	0	4	9	4	2	減少	▲ 10.5



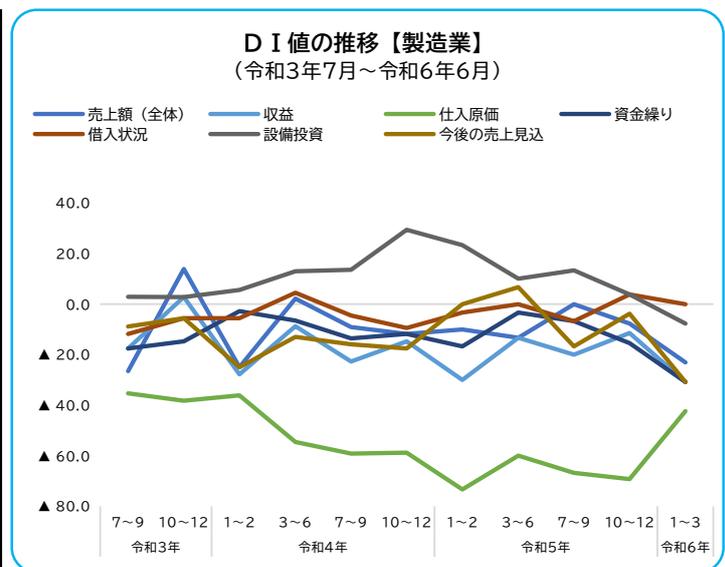
小売業のDI値は、売上額が▲2.6ポイントと昨年同期と比較して2.2ポイント改善しているものの、収益は▲13.2ポイントと▲6.1ポイント悪化し、借入状況も▲10.5ポイントと▲12.9ポイント悪化している。また、今後の売上見込についても▲10.5ポイントと▲8.1ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が52.6%（10件）と最も多く、次に「売上減少」が42.1%（8件）となっている。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	3	5	6	1	減少	▲ 16.7
市内売上	増加	0	0	7	8	0	減少	▲ 26.7
市外売上	増加	0	4	6	5	0	減少	▲ 3.3
収益	増加	0	3	6	5	1	減少	▲ 13.3
仕入原価	低下	0	0	3	8	4	上昇	▲ 53.3
資金繰り	好転	1	0	12	2	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	1	12	2	0	増加	▲ 3.3
設備投資	増加	0	3	11	0	1	減少	3.3
今後の売上見込	増加	0	1	8	5	1	減少	▲ 20.0



卸売業のDI値は、市内売上が▲26.7ポイントと昨年同期と比較して▲23.4ポイント悪化し、売上額(全体)についても▲16.7ポイントと昨年同期と比較して▲6.7ポイント悪化している。しかしながら収益は▲13.3ポイント、資金繰り0ポイントと共に昨年同期と比較して10.0ポイント改善している。現在直面している経営上の問題点では「売上減少」と「仕入価格の高騰」が60.0%（9件）と最も多く、次に「経費の高騰」が53.3%（8件）となっている。

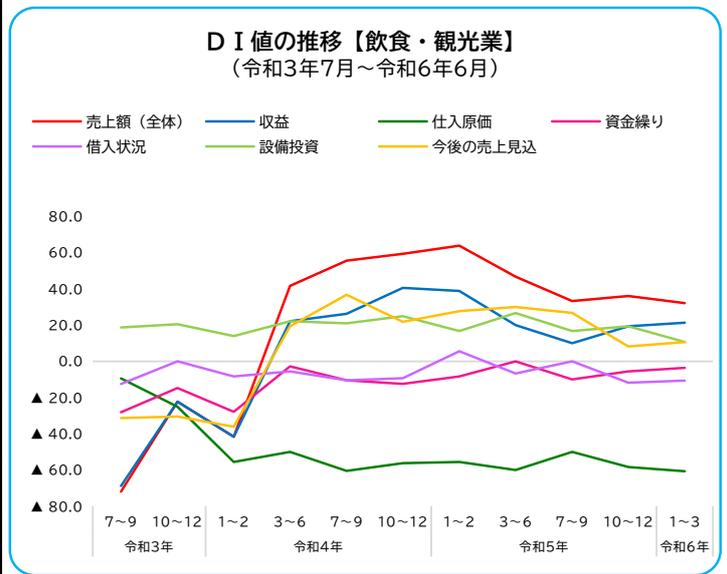
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	3	2	4	4	2	減少	0.0
市内売上	増加	1	5	2	4	2	減少	▲ 3.6
市外売上	増加	2	2	5	2	1	減少	8.3
海外売上	増加	0	0	1	1	0	減少	▲ 25.0
収益	増加	3	1	3	6	2	減少	▲ 10.0
仕入原価	低下	0	0	4	8	3	上昇	▲ 46.7
資金繰り	好転	0	0	9	5	1	悪化	▲ 23.3
借入状況	減少	0	2	11	2	0	増加	0.0
設備投資	増加	0	2	11	1	1	減少	▲ 3.3
今後の売上見込	増加	0	4	6	3	2	減少	▲ 10.0



*市内売上なし1件、市外売上なし3件、海外売上なし13件

製造業のDI値は、市外売上が8.3ポイントと昨年同期と比較して11.9ポイント改善し、売上額(全体)についても0ポイントと13.3ポイント改善している。しかしながら資金繰りが▲23.3ポイントと▲20.0ポイント悪化し、今後の売上見込についても▲10.0ポイントと▲16.7ポイント悪化となっており厳しい状況が続いている。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が46.7%（7件）と最も多く、次に「人手不足」が33.3%（5件）となっている。

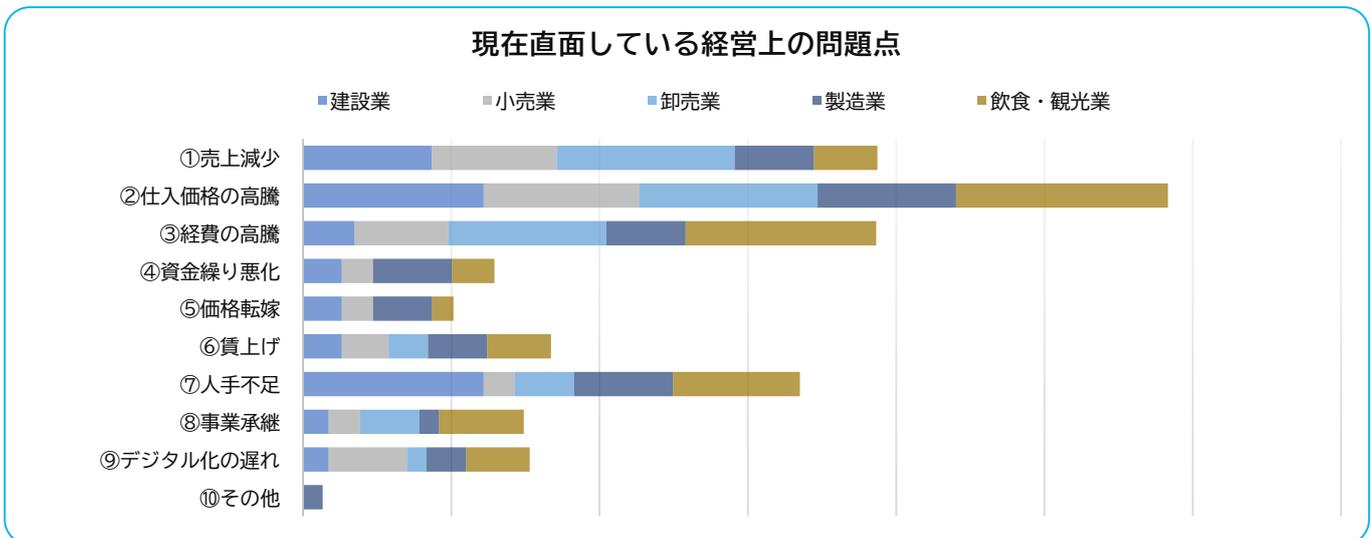
飲食・観光業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	6	4	4	0	減少	7.1
地元売上	増加	0	0	9	4	1	減少	▲21.4
日本人観光客売上	増加	1	2	8	3	0	減少	3.6
インバウンド売上	増加	3	9	0	2	0	減少	46.4
収益	増加	0	5	4	5	0	減少	0.0
仕入原価	低下	0	0	0	12	2	上昇	▲57.1
資金繰り	好転	0	2	9	3	0	悪化	▲3.6
借入状況	減少	0	0	13	1	0	増加	▲3.6
設備投資	増加	0	6	8	0	0	減少	21.4
今後の売上見込	増加	0	7	5	2	0	減少	17.9



飲食・観光業のDI値は、売上額(全体)が7.1ポイントと昨年同期と比較して▲39.6ポイントと大幅に悪化している。特に昨年同期と比較して地元売上が▲35.7ポイント、日本人観光客売上が▲32.1ポイント悪化している。また、今後の売上見込についても17.9ポイントと▲12.1ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では、「仕入価格の高騰」が71.4%(10件)と最も多く、次に「経費の高騰」が64.3%(9件)となっている。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

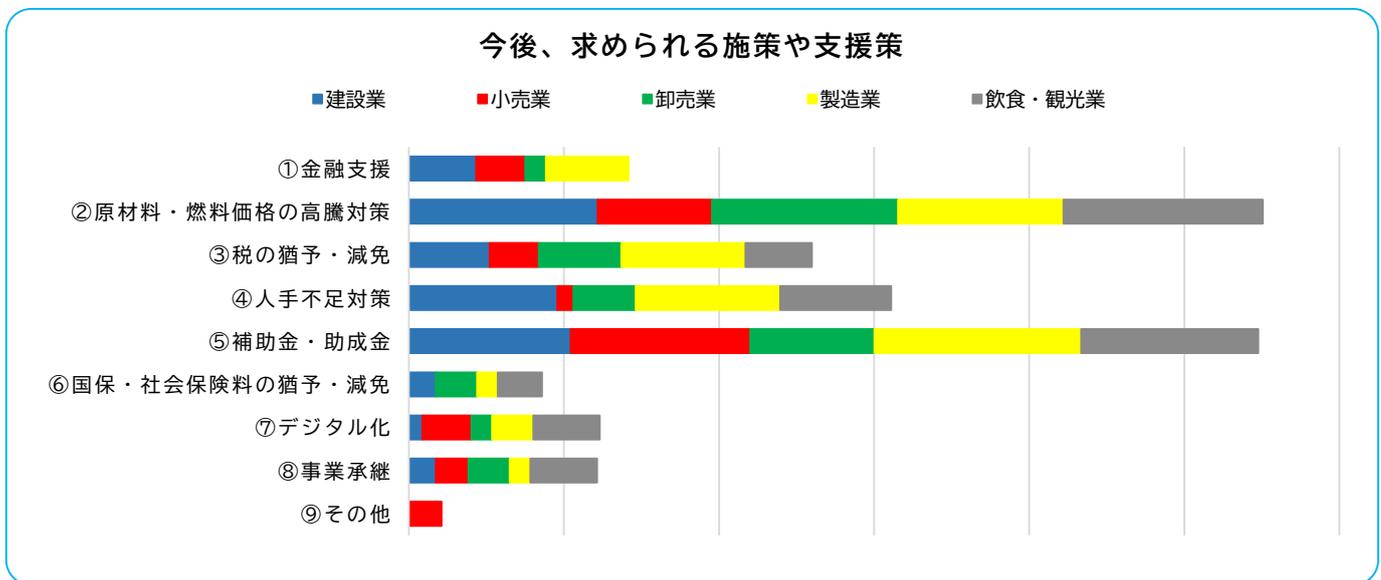
	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①売上減少	10	8	9	4	3	34	39.5%
②仕入価格の高騰	14	10	9	7	10	50	58.1%
③経費の高騰	4	6	8	4	9	31	36.0%
④資金繰り悪化	3	2	0	4	2	11	12.8%
⑤価格転嫁	3	2	0	3	1	9	10.5%
⑥賃上げ	3	3	2	3	3	14	16.3%
⑦人手不足	14	2	3	5	6	30	34.9%
⑧事業承継	2	2	3	1	4	12	14.0%
⑨デジタル化の遅れ	2	5	1	2	3	13	15.1%
⑩その他	0	0	0	1	0	1	1.2%



《小売業》商店街活性化
 《製造業》人口減少、社会保障の増加、賃金の高騰、増税圧力、過剰サービス

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①金融支援	5	3	1	4	0	13	15.1%
②原材料・燃料価格の高騰対策	14	7	9	8	9	47	54.7%
③税の猶予・減免	6	3	4	6	3	22	25.6%
④人手不足対策	11	1	3	7	5	27	31.4%
⑤補助金・助成金	12	11	6	10	8	47	54.7%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	2	0	2	1	2	7	8.1%
⑦デジタル化	1	3	1	2	3	10	11.6%
⑧事業承継	2	2	2	1	3	10	11.6%
⑨その他	0	2	0	0	0	2	2.3%



《小売業》商店街活性化のための補助（市制70周年記念行事など）、外装費への補助

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。